

▼ツリーデッキ



▲ツリーデッキ・アスレチック

里山は自然のおもちゃ箱

小羽地区もまた少子高齢化、人口減少の波にさらされています。「NPO法人こば」では、小羽地区の現状を変えようと、そば打ち教室や自然体験、農業体験、森の整備活動やツリーデッキ建設、アスレチック設置などを企画し、訪れた親子連れはとも楽しんでおられました。

これによって、小羽地区外の人々との交流人口は大幅に増え、移住する人たちも少しずつ増えています。今後は空き家バンクなどにも取り組んでいく予定です。

でも一番大切なことは、この地域で実際に暮らしている方々が、どれ

だけ自分たちの里山の自然を愛し、生き生きと暮らしていくかということと、「NPO法人こば」は自分たち自身が楽しむことを活動の第一の目的にしています。

里山は、その気になればお金をほとんどかけずに日々の暮らしを楽しめる自然のおもちゃ箱です。

一緒にチャレンジしませんか？

小羽地区は、平成28年に活動を修了した「草刈り十字軍」の発祥の地でもあります。NPOの中心的メンバーには、この活動に参加したこときっかけにこの地に移住し、有機農業を営む人たちがいます。

都市住民や他地域の人々に対して、昔から開かれた地域であること

▶草刈り十字軍とは…。

造林地への農業の空中散布に反対したことがきっかけで起こった運動。人力による山林の草刈りを実施してきた。

お問い合わせ

NPO法人こば 事務局
TEL:090-5133-4236

楽しいイベント
盛りだくさん!



▲棚田からの立山連峰

中山間地域
チャレンジ
支援事業の
紹介

小さなつながりから夢のある未来を！
閉校になった
小学校木造校舎から
発信する里山の魅力

富山市南部の神通川左岸、少し車を走らせると小羽地区に着きます。かつて富山湾のブリを内陸へと運んだブリ街道（現在の国道41号）に近く、棚田から立山連峰を一望し、四季折々の神通峡の美しさを気軽に楽しめる中山間地域です。「NPO法人こば」は中山間地域チャレンジ支援事業を活用して、閉校になった旧小羽小学校を拠点に、里山で生きる楽しさ、素晴らしさを発信し、地域活性化を目指しています。合言葉は、「田舎だからこそチャレンジできる！」



嬉し楽しや里山暮らし

小羽地区は市街地から離れておらず、神通川に橋が少なかった昔とは違い、生活上の不便さはほとんどありません。一方で、棚田をはじめ豊かな里山の風景が広がっています。雪解けの春には一斉に命が芽吹き、様々な山菜を楽しめます。眩いばかりの新緑の季節を経て、真夏の暑さは里山林が防いでくれます。目の前に広がる緑の稲の上を流れる風

も心地よく、夜には蛍が舞う様子を見ることが出来ます。

収穫の秋には、山水で育った美しい黄金色の稲穂が実ります。澄み切った夜空に上る満月と、月明かりに浮かび上がる立山連峰。冬の里山は真っ白に雪化粧します。雪の上に残る、カモシカやウサギ、キツネの足跡。

小羽地区には、昔ながらの日本の田舎の原風景が残っているのです。



そば
打ち
教室



▶中山間地域チャレンジ支援事業とは…。

中山間地域の集落と企業・団体等が連携して取組む農山村を元気にする活動（農業生産活動の支援、新商品開発など）に対して、県が支援する事業です。